



ほくろはなぜできるの

「ほくろ」はメラニンが集まったもの

人間の体の皮膚には、少し色がついています。これは、皮膚の少し中のところに、メラニンという色素（色のつぶ）があるからです。「ほくろ」は、このメラニンが集まってできたものです。メラニンは、ふつう、皮膚の中に平均に広がっていますが、何かの原因で、1か所にかたまってしまうことがあります。それが、「ほくろ」です。

「ほくろ」には、小さなものから大きなものまであり、中には、いぼのように出っばっているものもありますが、「ほくろ」がなぜできるか、くわしいことはわかっていません。

「ほくろ」のまめ知識

お父さんやお母さんにほくろが多いと、子どもにも、ほくろができやすいといわれています。ほくろは、おとなになっても消えませんが、

「そばかす」も、ほくろと同じように、メラニンが集まってできたものです。しかし、そばかすは、おとなになると、消えてしまう人が多いようです。

おじいさんやおばあさんになると、顔や手に「しみ」ができます。これも、メラニンが集まってできたものです。（監修・保志 宏）

